

常任指揮者: ティエリー・フィッシャー

名フィル
Nagoya Philharmonic Orchestra since 1966

THIERRY FISCHER
Nagoya Philharmonic Orchestra
CHIEF CONDUCTOR

Photo: Eric Richmond

名古屋フィルハーモニー交響楽団

第376回 定期演奏会

2010.4-2011.3シーズン
〈「都市と音楽」シリーズ〉

ニューヨーク

Nagoya Philharmonic Orchestra The 376th Subscription Concert
2010.4-2011.3 Season 'New York' from "City and Music Series"

2011 **1.21**(金) **1.22**(土)
6:45pm開演 (6:00pm開場) 4:00pm開演 (3:15pm開場)
Jan. 21 (Fri.) 6:45pm Jan. 22 (Sat.) 4:00pm

愛知県芸術劇場コンサートホール
Aichi Prefectural Art Theater Concert Hall



【指揮】
シュテファン・
ショルテス
Conductor: Stefan SOLTESZ

【ピアノ】
ボリス・
ギルトブルク*
Piano: Boris GILTBURG*

アイヴズ: 『カントリー・バンド』行進曲
C. Ives: "Country Band" March

ガーシュウィン: ピアノ協奏曲へ調*
G. Gershwin: Piano Concerto in F*

ドヴォルザーク: 交響曲第9番ホ短調 作品95, B.178 『新世界より』
A. Dvořák: Symphony No.9 in E minor, Op.95, B.178 "From the New World"

2010
名古屋
開府
400年

平成22年度文化芸術振興費補助金(芸術創造活動特別推進事業)

1回券料金(税込)

S席 ¥7,000 A席 ¥6,000 B席 ¥5,000
C席 ¥4,000 D席 ~~¥3,000~~ 完売
Y席 ¥1,000 (24歳以下対象、当日窓口販売のみ)

1回券発売日

2010年9月29日(水)

割引

いきいき割引 / S~D席を20%割引
65歳以上、障害者手帳をお持ちの方(介添人1名様まで可)対象
ユース割引 / S~D席を20%割引
24歳以下の方(学生・社会人を問いません)対象
※大学生協でも取扱
車椅子席 / A席を20%割引(¥4,800) ※要事前予約

チケットお申込み・お問合せ

名フィル・チケットガイド
Tel.052-339-5666

http://www.nagoya-phil.or.jp/ 名フィル 検索

主催:財団法人名古屋フィルハーモニー交響楽団
後援:愛知県・愛知県教育委員会・名古屋市・名古屋市教育委員会・財団法人名古屋市文化振興事業団・中日新聞社・中部日本放送

≡ Biography ≡

指揮

シュテファン・ショルテス

Conductor
Stefan SOLTESZ

1949年ハンガリー生まれ。ウィーン国立音楽大学でハンス・スワロフスキーに指揮法を師事。1971年にアン・デア・ウィーン劇場で指揮者としてのキャリアをスタート。1973-83年にウィーン国立歌劇場で指導者および指揮者として契約。1979-81年にグラーツ歌劇場の客演指揮者を務める。1978、79、83年のザルツブルク音楽祭では、カール・ベーム、クリストフ・フォン・ドホナーニ、ヘルベルト・フォン・カラヤンのアシスタントを務める。



1983-85年にハンブルク州立歌劇場の常任指揮者、1985-97年にベルリン・ドイツ・オペラの常任指揮者、1988-93年にブラウンシュヴァイク州立歌劇場の音楽監督、1992-97年にフランダース歌劇場の音楽監督を歴任。

1997年にエッセン歌劇場(アールト・ムジークテアター)の支配人兼音楽総監督、エッセン・フィルの音楽総監督に就任。以後、この歌劇場とオーケストラの評価を飛躍的に高め、オペラ専門誌『オーパングヴェルト』の「2007/08シーズンの成果」アンケートでは、「最優秀オペラ劇場」に輝いた。同時に、ショルテス自身は「最優秀指揮者」、エッセン・フィルは「最優秀オペラ・オーケストラ」に選ばれている。

ピアノ

ボリス・ギルトブルク

Piano
Boris GILTBURG

1984年モスクワ生まれ。テル・アヴィヴで育ち、アリエ・ヴァルディに師事。2002年サンタンデル国際コンクールで演奏したバルトーク「ピアノ協奏曲第3番」(ラファエル・フリーベック・デ・ブルゴス指揮/ロンドン響)ではその高い音楽性が評価され、第1位とソニー聴衆賞を受賞している。



Photo: Eric Richmond

2007年ミハイル・プレトニョフ指揮/フィルハーモニア管との共演で大ブレイクし、同団のロンドン公演にはすでに常連となっている。またボーンマス響、ロイヤル・リヴァプール・フィル、バーミンガム市響、BBCウェールズ・ナショナル管などに客演。2008-09シーズンにはベルリン・ドイツ響、フランクフルト放送響にデビューを果たしたほか、ドイツ放送響、ロイヤル・フランダース・フィル、プラハ響に客演。特にプラハ響とは関係が深く、2005年の日本ツアー、2007年の中国ツアーにもソリストとして同行している。

2005年2月には、ズービン・メータによるオーディションを経てイスラエル・フィルにデビュー。またフィリップ・アントルモン指揮/イスラエル室内管とは10代のときにアメリカツアーに帯同している。

2007年にはチェルトナム音楽祭のアーティスト・イン・レジデンスとしても活躍している。

<「都市と音楽」シリーズ>聴きどころ 第376回定期演奏会 「ニューヨーク」

山野 雄大(音楽ライター)

1月の街は〈ニューヨーク〉。移民たちが築き上げた摩天楼の街で産声をあげた魅力的な作品たち、その多彩をお楽しみいただく。奇抜な着想と美しい感性で聴き手を魅きつけるアメリカ実験音楽の父・アイヴズに、シンフォニック・ジャズの鬼才ガーシュウインの「ピアノ協奏曲」、そしてボヘミアから渡米したドヴォルザークが胸を衝く郷愁を溢れさせた『新世界より』とヴァラエティ豊かな3作だ。ガーシュウインには、豪胆と繊細をかねそなえた新鋭と評判のギルトブルクをロシアから迎える。そして指揮のシュテファン・ショルテスはエッセン州立歌劇場を率いて活躍、劇場と楽団を厳しく巧みに鍛え抜いた結果、ドイツの批評家50人による専門誌の投票でヨーロッパ最優秀と讃えられるまでに引きあげてみせた辣腕。もっか欧州楽団最注目指揮者だ。その俊才の鋭利が、新世界の傑作たちと共に名フィルにひらめく。どうして聴き逃せようか?

その他のチケット取扱

チケットぴあ(Pコード:115-982).....0570-02-9999
愛知芸術文化センター内プレイガイド...052-972-0430
ナディアパークプレイガイド.....052-265-2015
市内主要プレイガイド、大学生協でも取扱

託児サービス 1名様¥1,000

未就学児童(満1歳以上)対象、要事前予約
お申込み:ポピンスサービス名古屋
Tel. 052-541-2100
(演奏会の3日前(土・日・祝をのぞく)まで受付)

※未就学児童のご入場は、保護者同伴の場合でもご遠慮ください。
※お申込みいただいたチケットのキャンセル・変更は受付いたしていません。
※やむを得ぬ事情によって、出演者・曲目などを変更する場合がございます。
あらかじめご了承ください。

本紙は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。



愛知県芸術劇場 コンサートホール

〒461-8525 名古屋市東区東桜1-13-2
愛知芸術文化センター4F

地下鉄東山線・名城線「栄」駅より徒歩2分
名鉄瀬戸線「栄町」駅より徒歩2分

<http://www.aac.pref.aichi.jp/>